

宇宙政策セミナー

2015/2/17

パネル; 民生分野における宇宙利用の推進

地球規模課題の解決に向けた地球観測の役割

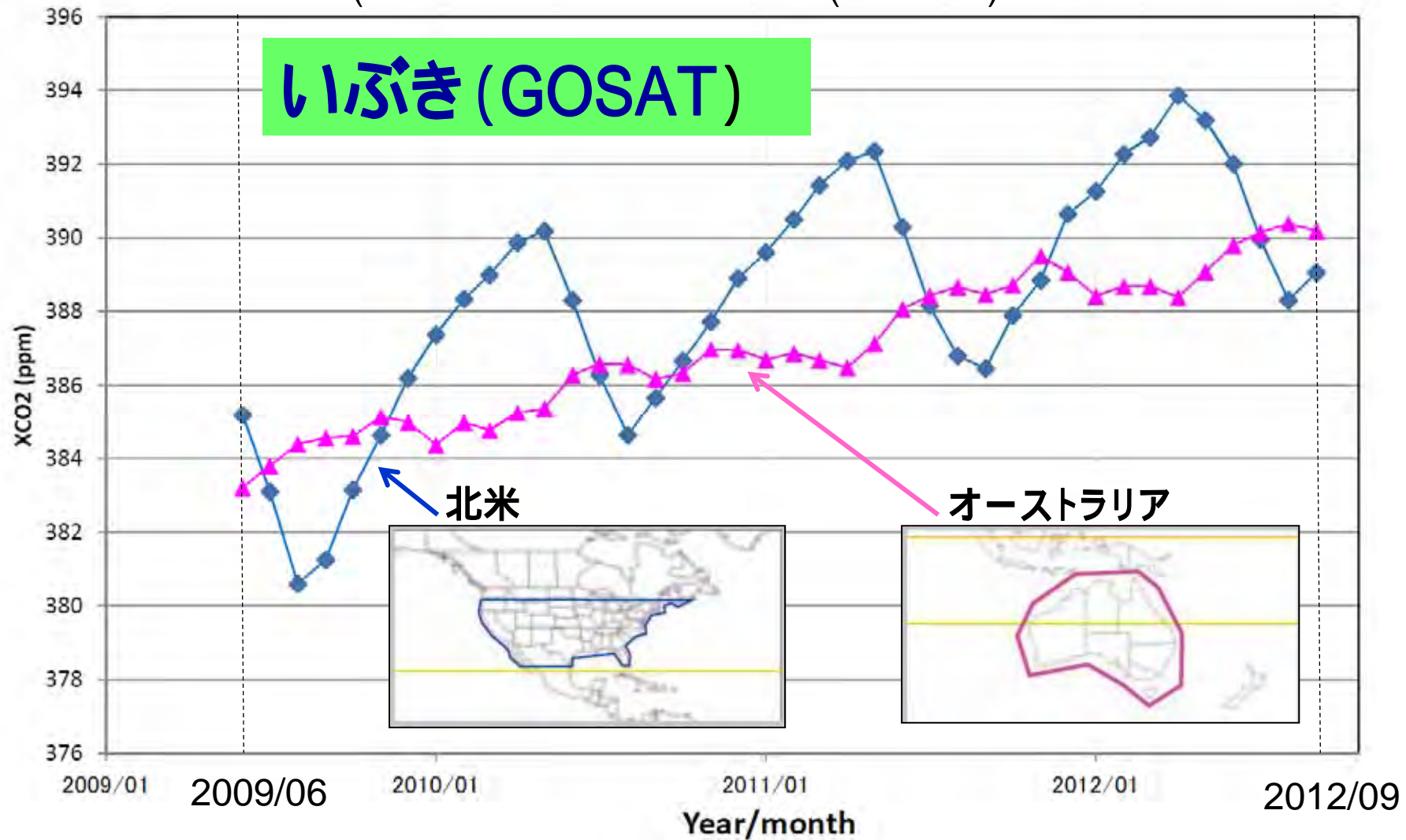
安岡 善文

東京大学名誉教授

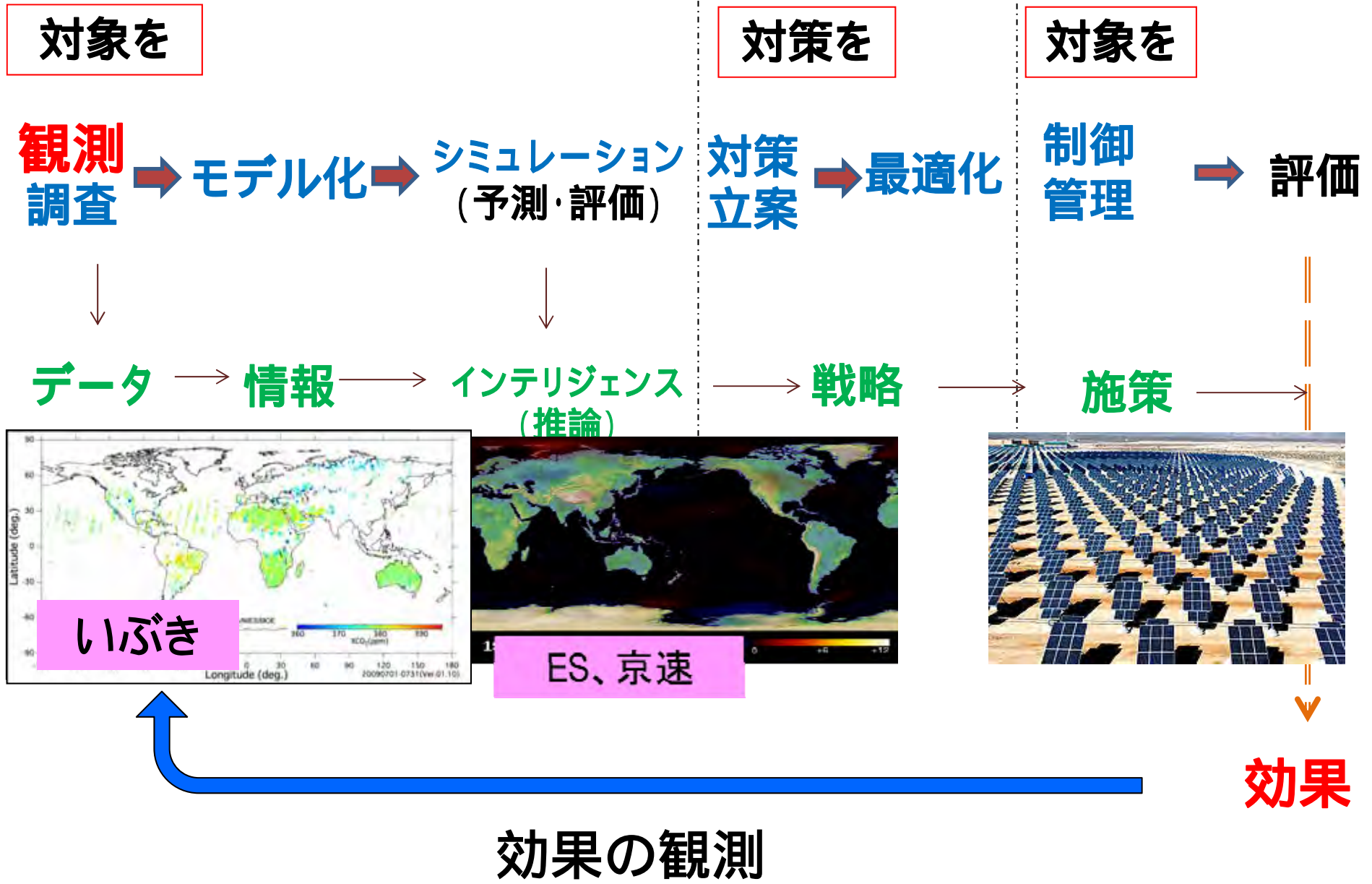
北米とオーストラリアの二酸化炭素カラム 平均濃度 (XCO₂) の領域内月平均値の推移



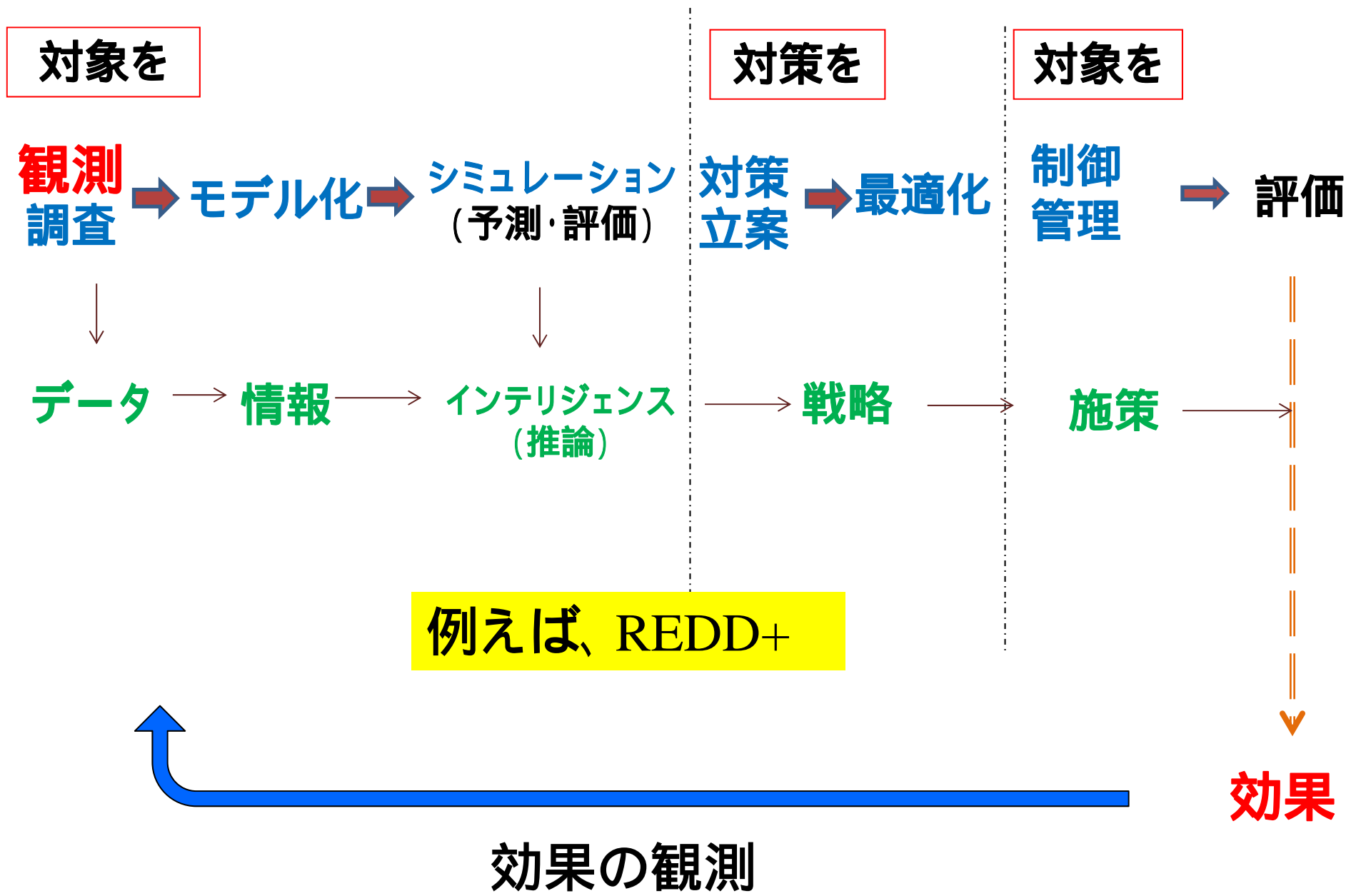
(TANSO-FTS SWIR Level 2 (Ver.02.**))

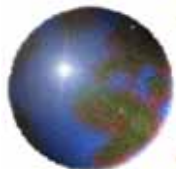


観測から対策までのサイクル



観測から対策までのサイクル





宇宙を活用した地球観測の特性

広域性

地域から地球までをカバー

同報性

迅速・広範な情報発信

耐災害性

自動・継続性の担保

公平性・透明性・平等性

世界標準・国際認証のデータ作成



科学技術における幾つかの流れ

社会的課題解決への要請

社会実装

国際的な連携

地球規模課題の解決

イノベーション推進

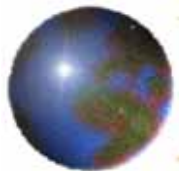
国際競争力の強化

基礎力の強化

日本の強み

日本の地球観測衛星には貢献できるものが多い

TRMM, GPM, AMSR, GOSAT, ALOS, …



地球観測

地球に関する **データ + 知識(モデル)** の
獲得を通じて **社会的サービス** を提供

社会への実装が不可欠

単独では不可能(**学際、国際、業際、省際、...**)

日本の強みの特定

日本の強みを**社会的課題解決**に結びつける道筋



地球観測

課題解決に資するための役割

観測は因果関係を知る一丁目一番地

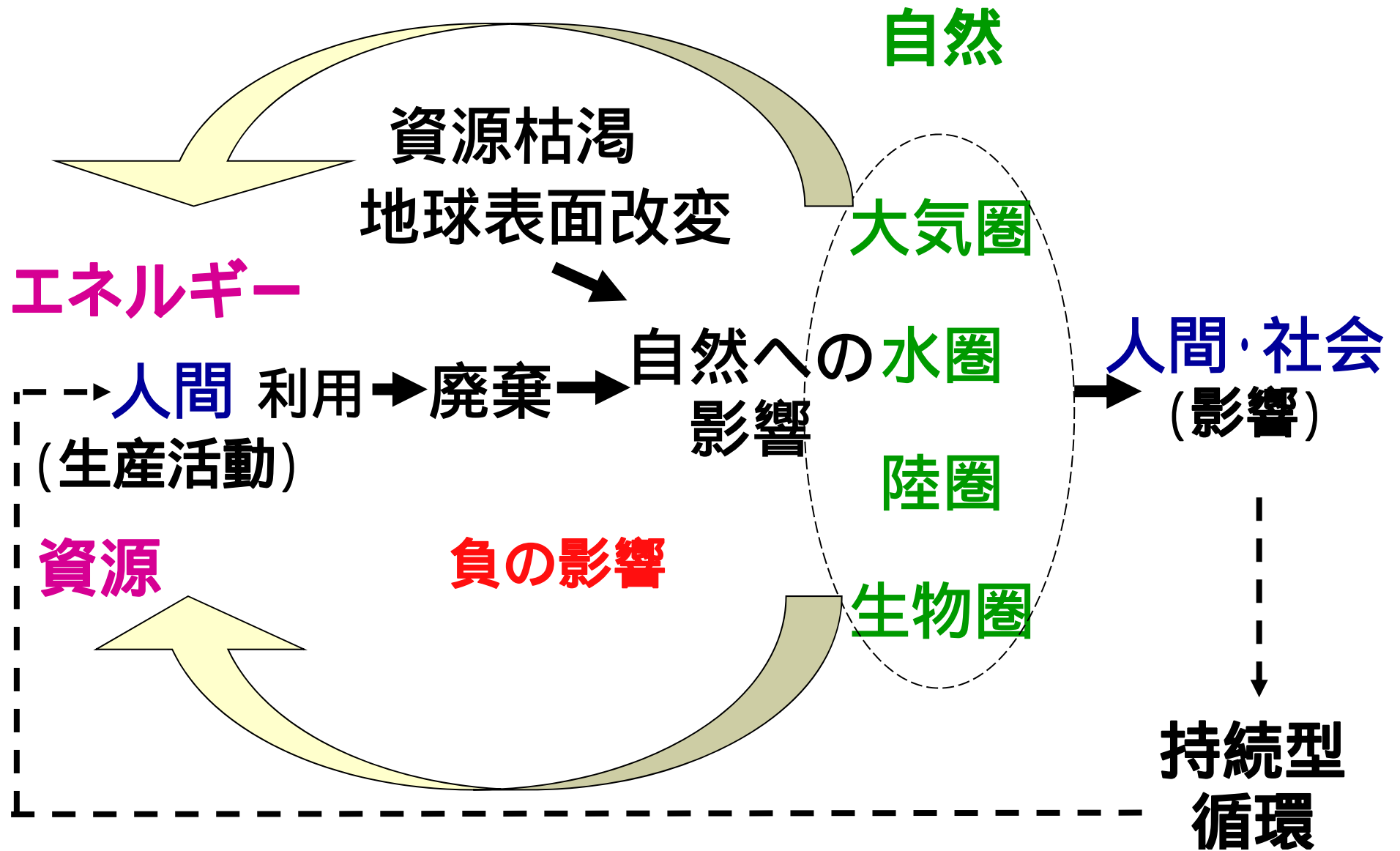
科学技術の推進に資するための役割

観測は研究の一丁目一番地

イノベーションに資するための役割

観測は“社会的価値”を生み出す一丁目一番地

持続可能な社会実現に向けてのサイクル



観測、プロセス解明、モデル化、評価、改善